

見どころ案内

ユキワリイチゲ (キンポウゲ科)

「春の妖精」のひとつに数えられ、天気の良い日に花を開き、曇りの日には閉じています。花卉の色は白から淡紅紫色まであります。春の妖精もこれで見納めになります。

ゲンカイツツジ (ツツジ科)

中国地方、四国北部、九州北部に分布する落葉低木で、早春の葉の展開前に花を付けます。紅紫色のロート状の花を枝先に複数個つけるので、春先の花が少ない時期に華やかになります。

ガステリア

(ススキノキ科)

今、サポテン温室が面白いっ！アフリカ南部に自生している多肉植物で、花が胃の形に似ていることから名が付けました。ハオルチアなども咲いています。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室の南側花壇ではオリエント系交雑種が見頃です。これから春に向けてバラエティーに富んだ花色で彩られます。

マンドレイク (ナス科)

別名マンドラゴラ。引き抜くと悲鳴を上げるという伝説で有名な薬用植物です。薄紫色の可憐な花を咲かせています。

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (3/9~4/4)

「草木染の世界」展

◇展示温室 (3/9~4/17)

ゼラニウム展

ヒメアリアケカズラ

(キョウチクトウ科)

ブラジル原産の半蔓性の常緑低木で、花は黄色いランペット状で先端に集まって咲きます。花の内側に赤褐色の縞状の模様があります。鉢物に多く利用されており、実はハリセンボンのような形をしています。

ベニノキ (ベニノキ科)

熱帯アメリカ原産の常緑低木で、種子から食用色素がとれます。赤い実が良く目立っています。花も見ることが出来ます。

寒緋桜 (バラ科)

早咲きの寒桜が終わりかけており、河津桜の隣で真紅の寒緋桜が咲き始めています。遅咲きのカンザクラも咲き始めており、いよいよ桜の季節の到来です。

カワヅザクラ (バラ科)

河津とは静岡県の地名です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。満開ですので、お早めにご観賞されることをお勧めします。

ウメ '鹿児島紅' (バラ科)

早生の品種は咲き終わり、中生のものも盛りを過ぎてしまいましたが、いよいよ極晩生の品種が花を付けてきました。真っ赤な花を付けてきています。

